

# 日本陸水学会第72回大会（水戸大会）のご案内

大会委員長 森野 浩

会 期：2007年9月10日（月）～9月13日（木）

9月10日（月）幹事会，編集委員会，評議会，将来計画検討専門委員会など

9月11日（火）一般講演，ポスター発表，自由集会

9月12日（水）公開シンポジウム，総会，学会賞・ポスター賞授与式，懇親会

9月13日（木）一般講演，課題講演

会 場：茨城大学（水戸キャンパス：「会場へのアクセス」参照）

連絡先：〒311-2402 茨城県潮来市大生1375 茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター

日本陸水学会第72回大会実行委員会

（実行委員長 高松武次郎 事務局長 中里亮治

TEL：0299-66-7188 Fax：0299-67-5175 E-mail：nakazato@mx.ibaraki.ac.jp）

大会ホームページ：http://rikusui-mito.hydr.ibaraki.ac.jp/

## 申し込み受付の日程

	大会ホームページでの受付	郵送又はメールでの締め切り
参加申し込み	<取り扱いません>	6月28日（木）
	大会ホームページでの受付期間	郵送での締め切り
講演申し込み	6月12日（火）14:00～ 6月28日（木）14:00まで	6月28日（木）
講演要旨	7月17日（火）14:00～ 8月2日（木）14:00まで	8月2日（木）

## 参加・講演申し込み

- 大会への参加申し込みは、大会ホームページにあるA票（参加申込票）に必要事項を記入し、メールに添付して、6月28日（木）までに大会実行委員会事務局宛（nakazato@mx.ibaraki.ac.jp）にお送りください。メールによる申し込みが困難な場合は、別紙A票（参加申込票）を実行委員会宛に郵送して下さい。
- 講演申し込みは、演者のみが行い、原則として大会ホームページからお願いします。ホームページでの申し込みは6月12日（火）14:00から6月28日（木）14:00の間に受け付けます。連名の場合は演者の氏名の前に\*印をつけて下さい。大会ホームページでの申し込みが困難な場合は、本大会案内に添付のB票（講演申込票）に必要事項をご記入の上、6月28日（木）必着で実行委員会宛に郵送して下さい。
- 参加費は以下の通りです。送金は、同封の郵便振替用紙をご利用下さい。郵便局備え付けの振替用紙をご利用いただいても結構です。

郵便振替口座番号：00100-6-631621 口座名称：陸水学会水戸大会

事務手続きの間違いを防ぐため、振替用紙は必ず一人につき一枚使用して下さい。

いったん納入された参加費はお返しいたしません。

## 参加費・懇親会費

		6月28日(木)まで	6月29日(金)以降
参加費	会員 一般	5,000円	7,000円
	学生	3,000円	5,000円
懇親会費	非会員 一般	6,000円	8,000円
	学生	3,000円	5,000円

大会に参加せず、講演要旨集の郵送をご希望の方は、代金一冊につき5,000円(送料含む)を郵便振替で実行委員会へお送りの上、A票に必要な事項をご記入いただき、6月28日(木)までに実行委員会事務局宛に郵送又はメールでお送りください。

## 講演要旨

講演申込者は、講演要旨を日本陸水学会第72回大会講演要旨執筆要領に従ってマイクロソフトWordで作成し、ファイルを7月17日(火)14:00から8月2日(木)14:00の間にウェブ画面から提出して下さい。講演要旨集は、提出された原稿を白黒印刷して作成します。1演題につき1ページまでとします。講演要旨の演題は、講演申し込み時の演題と必ず同じにして下さい。講演要旨を提出する画面は大会ホームページでご案内します。

ウェブ画面から提出できない場合は、作成したWordファイルを電子メールで大会実行委員会事務局宛(nakazato@mx.ibaraki.ac.jp)にお送りいただくか、WordファイルをCD-Rに保存して8月2日(木)必着で大会実行委員会事務局宛に郵送して下さい。ご郵送いただいたCD-Rの返却は致しませんので、どうぞご了承ください。

本大会では、講演要旨を科学技術振興機構のウェブサイトで公開します。公開を希望されない方は、講演申し込み時に「演題・その他入力」画面の備考欄にその旨ご指示下さい。郵送の場合でもその旨ご指示下さい。ウェブでの公開は、本大会終了後に行われます。

なお、原稿が上記期限までに大会実行委員会事務局に到着しなかった場合は、遅着原稿は欠番となる可能性がありますので、どうぞご注意ください。

## 課題講演

課題講演は一般講演と並行して行われます。課題講演のコンビーナー希望者は、タイトルと連絡先を5月31日(木)までに大会実行委員会事務局宛(nakazato@mx.ibaraki.ac.jp)に電子メールでご連絡下さい。課題講演の応募状況は、大会ホームページに随時掲載されます。応募多数の場合は、実行委員会で検討し、採択を決定することがありますのでご了承下さい。課題講演題目が決定次第(大会ホームページに掲載)、課題講演希望者を募ります。発表を希望される方は、6月15日(金)までに、直接コンビーナーと連絡をとって下さい。コンビーナーは、タイトル、各演題、発表者、所属を取り揃え、6月22日(金)までに実行委員会事務局宛(nakazato@mx.ibaraki.ac.jp)に電子メールでご連絡下さい。なお、課題講演の演者は大会ホームページによる講演申し込み手続きも、必ず行って下さい。

## 公開シンポジウム

以下の二部形式で実施します。

題目：「霞ヶ浦を考える(仮題)」

第一部：「健全な霞ヶ浦を取り戻せるか?(仮題)」

コンビーナー：高村 典子(独立行政法人 国立環境研究所)

第二部：「霞ヶ浦の水質 ー古くて新しい問題ー」

コンビーナー：山室 真澄(東京大学大学院)

## 自由集会

自由集会を企画される方は、大会実行委員会事務局宛（nakazato@mx.ibaraki.ac.jp）に6月28日（木）までに電子メールでご連絡下さい。

## 一般講演・課題講演

1. 口頭発表時間は、発表12分、質疑応答3分の、合計15分です。
2. 口頭発表では、できるだけ液晶プロジェクターをご利用ください。液晶プロジェクターはWindowsパソコンに接続します。PowerPointのファイルをUSBメモリーまたはCD-Rに保存してお持ち下さい。ファイルは事前に受付でお預かりすることになります。Macintosh等他のパソコンをご利用の場合は、パソコン等をご持参いただき、各自で発表の準備をお願いします。
3. 容量が極端に大きいPowerPointファイル（10メガバイト超など）は、表示に時間がかかるなど不具合の原因となります。写真を表示させる場合などは、ファイル容量にご配慮下さい。

## ポスター発表

1. ポスターパネルの大きさは縦160cm×横110cm（予定）です。パネルのサイズは後日変更になる可能性がありますので、ホームページで最新の情報を確認してください。
2. 昨年に引き続き今大会でも、日本陸水学会大会におけるポスター発表の質の向上と、若手研究者の学会発表に対する意欲を高めるために、優秀なポスター発表に対して賞を授与します。審査の対象となるのは、学生、大学院生、ポスドク等の若手研究者による発表のうち、審査を希望したものとします。

## 懇親会

9月12日（水）午後6:30（予定）より、福利センター生協1階食堂にて懇親会を開催します。参加希望者は、会費5,000円（学生3,000円）を参加費に添えて6月28日（木）までにお申し込み下さい。

## 昼食

生協の食堂ならびに茨城大学周辺の食堂をご利用下さい。

## 会場へのアクセス

### ①電車

東京方面からお越しいただく場合、JR上野駅から「JR特急スーパーひたち」または「JR特急フレッシュひたち」を御利用いただくと約1時間でJR水戸駅に到着します。水戸駅の改札を北口（右側）に出て、北口出口の左手階段を下ります。水戸駅（北口）バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行（栄町経由）」に乗車します。乗車時間は約30分ですが、交通渋滞等によりそれ以上かかる場合があります。「茨大前」で下車して、123号線の信号を横切り、突き当たりまで直進します。突き当たりのT字路を左に曲がると水戸キャンパス正門に到着します。水戸駅から大学までの詳細な写真入の案内図が以下のホームページ（[http://www.ibadai-nyushi.net/access\\_map/a\\_mito00.html](http://www.ibadai-nyushi.net/access_map/a_mito00.html)）にありますので、ご覧ください。

### ②自家用車

茨城大学水戸キャンパス構内は駐車場が不足しています。自家用車でのご来場はご遠慮ください

## 宿泊

茨城大学生生活協同組合では特に斡旋はしておりません。水戸駅周辺には多くのビジネスホテルがありますので、お手数ですが各自でご手配ください。

## 日本陸水学会第 72 回大会申込用紙

### A 票 参加申込票（6 月 28 日締め切り）

【メールでも受け付けます。大会ホームページにある様式を添付してお送りください。】

ふりがな  
氏名：

所属：

連絡先：〒

TEL：

FAX：

E-mail：

該当する（ ）に○，[ ] に冊数，【 】 に金額をご記入ください。

		6 月 28 日（木）まで	6 月 29 日（金）以降
参加費	会員 一般	( ) 5,000 円	( ) 7,000 円
	学生	( ) 3,000 円	( ) 5,000 円
	非会員 一般	( ) 6,000 円	( ) 8,000 円
		学生	( ) 3,000 円
懇親会費	一般	( ) 5,000 円	( ) 5,000 円
	学生	( ) 3,000 円	( ) 3,000 円
( ) 講演要旨集のみ*		5,000 円 × [ ] 冊 = 【 】 円	
合計金額			【 】 円

\*大会に不参加で、講演要旨集のみをご希望の方は（ ）欄に○をご記入ください。要旨集の発送は大会終了後になります。

### B 票 講演申込票（6 月 28 日締め切り）

【できるだけ大会ホームページからご登録ください。大会ホームページからご登録いただくと、この用紙は不要です】

分類：いずれかに○印をご記入ください。

一般講演 ( )，ポスター ( )，( ) 課題講演

ポスター賞の審査対象となることをご希望の方は、次の ( ) 内に○印をご記入ください。

ポスター賞審査希望 ( )

演題：

氏名（所属）：

（演者の前に\*印を付して下さい。課題講演の演者はコンピーナーにも連絡を取って下さい。

<以下は一般講演の演者のみ記入>

内容を示す分野と対象に○を記入し（複数可），またはキーワードを6個以内でご記入ください。

分野：( ) 生物系，( ) 化学系，( ) 物理系，( ) 地学系，( ) その他 ( )

対象：( ) 湖沼，( ) 河川，( ) 湿地（原），( ) 地下水，( ) 温泉

( ) 流域，( ) 沿岸，( ) 海洋，( ) 汽水，( ) 上下水，( )，その他 ( )

キーワード：( )，( )，( )

( )，( )，( )

（切り取って郵送の宛先に利用して下さい）

〒 311-2402 茨城県潮来市大生 1375 茨大水圏センター内

日本陸水学会第 72 回大会実行委員会事務局

中里 亮治 行

# 日本陸水学会第 72 回大会講演要旨執筆要領

## 1. 原稿の形式

- (1) 講演要旨原稿は、マイクロソフト Word 文書形式の電子データでご投稿ください。
- (2) 印刷又は手書きの原稿はご遠慮ください。
- (3) 原稿用紙のサイズは、A4 版に限ります。
- (4) 原稿用紙は、上 20 mm、左右各 20 mm、下 25 mm の余白をとり、その枠内に文章、図表が収まるようにしてください。
- (5) 原稿枚数は、1 演題につき 1 枚です（図表等を含む）。
- (6) 講演要旨集は白黒印刷となります。
- (7) 投稿された原稿は、標準設定の Windows で印刷されて講演要旨集に製本されます。
- (8) 講演要旨はウェブ上で公開されます。ウェブ公開を希望しない場合は、大会案内に記した方法でその旨ご指示ください。

## 2. 原稿の作成方法

- (1) 原稿は、次ページの執筆例を参考にし、以下の点に注意してご作成ください。
- (2) 原稿は、日本語は MS 明朝かゴシック、英語は Times New Roman, Arial または Helvetica でご作成ください。
- (3) 特殊なフォント、外字などを使用する際はご注意ください。特に Macintosh 等をご利用の方はこの点に注意し、Windows パソコンから印刷して文字化け等が無いことをあらかじめご確認ください。
- (4) 演題及び演者は、講演申し込み時のウェブ登録または B 票と同一のものとしてください。
- (5) 原稿の文字は 10 ポイントの活字をご使用ください。
- (6) 講演番号を記入しますので、1～4 行目は左側 40 mm を必ず空白にしてください。
- (7) 演題、発表者氏名、所属は、上から 6 行以内にご記入ください。
- (8) 演題は本文より大きな活字、あるいはゴシック体でご記入ください。
- (9) 連名の場合、講演者の氏名前に\*印を付して下さい。発表者が多い場合は所属毎に改行せずに、続けてご記入ください。
- (10) 本文は、原則として 2 段組とし、はじめに、材料と方法、結果、考察の項に分け、それぞれの文頭にこれらを明示して下さい。研究内容によりこれらの項に分けにくい場合には、項の一部を省略してもかまいません。
- (11) 記号や略号などは、「陸水学雑誌」投稿規定にならして下さい。
- (12) 図表を載せる場合には、細かい字や図は避けて下さい。大会実行委員会や印刷業者では図表や写真についての特別な処理は行いません。

## 茨城県の湖沼環境とその保全

←—————→  
【余白 40 mm】

\*水戸光圀（御三家大・理），徳川慶喜（幕末大・工）  
潮来伊太郎（霞ヶ浦大学・農），梅花鮫鯨（鹿島灘研）

### はじめに

日本第二位の湖沼である霞ヶ浦は，……

【文字 10 ポイント】

### 結果

2007 年 5 月の結果から，……

【文字 10 ポイント】

### 材料と方法

北浦および西浦の 20 定点でエクマン……

【文字 10 ポイント】

### 考察

本研究では，霞ヶ浦の……

【文字 10 ポイント】

【左余白 20 mm】

【右余白 20 mm】